

# 最終号の発行にあたって

西海区水産研究所 所長 浜野 かおる

西海区水産研究所は国立の8海区の水産研究所の一つとして昭和24年(1949年)に設立され、以後70年余りにわたり我が国西方海域を中心とした水産分野における研究開発を進めてまいりました。

この間、戦後復興期の漁業の発展に始まり、韓国との国交樹立、200海里経済水域の設定、国連海洋法条約の発効、行政改革、有明海・八代海再生特別措置法の施行など、各々の時代の社会状況に合わせて研究課題の見直しや部署の改廃を行って対応してきたところです。

近年では、世界的な食糧需要の増大や水産資源の利活用の持続性への懸念が強まるなか、資源管理の高度化や水産業の成長産業化を推し進めることなどによる「水産改革」が求められています。これらを受けて、当所を含む国立水産研究所は、研究開発をより効果的・効率的に進めるため、従来の「海区割り」を超えた新たな体制を築くべく、組織を再編することとなりました。

これにより、海区水産研究所の一つとしての「西海区水産研究所」は令和2年(2020年)7月19日をもって廃止となり、翌日からは「水産技術研究所」の本所として新たに機能を開始することとなります。長きにわたり、

西海区水産研究所の研究調査活動に多くのご理解とご支援を賜りましたことに、歴代の所長・所員を代表いたしまして厚くお礼申し上げる次第です。どうも有難うございました。

また、組織再編に伴い、本誌「西海(せいかい)」は今号の発行をもって刊行を終了させていただくこととなります。当所の研究調査情報を迅速に、分かり易く関係機関の方々にお知らせするべく、平成18年(2006年)の発刊以来14年間、前身である西海区水産研究所ニュースを含めると50年以上にわたり刊行を続けることができました。これも、読者の皆様方の温かいご支援があったからこそであり、ご愛読いただきましたことに心より感謝を申し上げます。

最終となります本号では、当所の研究部・センターの部長・センター長及び調査船の船長から、これまでの調査研究内容やその成果等について総括させていただきます。「西海区水産研究所」の名称と活動内容が皆様の心に少しでも留め置かれるようでしたら、職員一同幸甚の至りです。

## 西海区水産研究所の沿革

